

平成29年度 学校教育に関するアンケート結果

西東京市立本町小学校

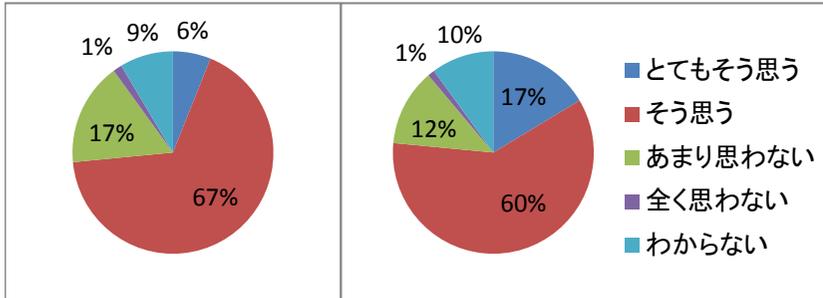
[1]

<教育方針>

【質問1】 学校がどのような学校をつくらうとしているか保護者も理解している。

平成28年度

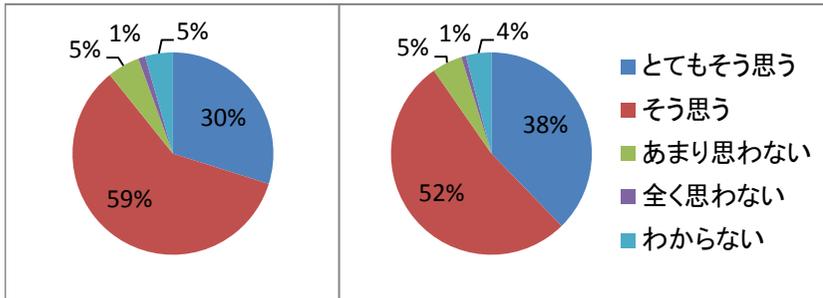
平成29年度



本校の学校経営方針については、学校便り、ホームページ、4月の保護者会等でも広報して参りました。今年度は、昨年度に比べて、「とてもそう思う」が10%以上増加し、「そう思う」を合わせた肯定的評価が77%になりました。これは、学校が目指している『一人一人の笑顔輝く学校づくり』を御理解頂けるようになってきたということだと考えられます。しかし、御理解頂けていない御家庭も少なからず見られます。

次年度は、運動会や学芸会、育成会行事など保護者の方々が多く来校される場でも、本町小学校の経営の基本を取り入れながらお話して参ります。

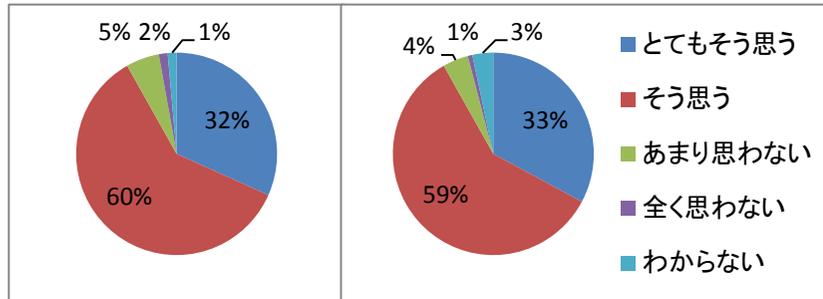
【質問2】 学校は「特色ある教育活動」(理科・生活科教育・縦割り班・親子DEOO)を積極的に推進している。



本校は、西東京市理科拠点校であり、担任と理科講師の複数体制で理科の授業を行いながら、日々の理科・生活科教育の充実に力を入れております。さらに、多摩六都科学館や東京農工大学との連携も毎年継続して行っております。昨年度から始めた『親子DE学習シリーズ』では、『星と月の観測会』や『漢字検定』などを行い、参加者からは好評の声を多数頂いております。さらに、『元気いっぱい週間』を親子で取り組むことを推奨するなど、新しい取組も行いました。その結果、肯定的評価が90%となりました。

次年度も、引き続き、理科教育と親子DEOOに取り組んで参ります。

【質問3】 学校で行われる学校行事に満足している。



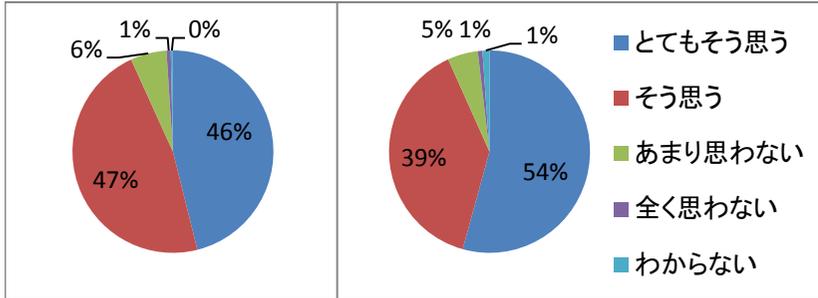
昨年度に引き続き今年度も肯定的評価は92%で、本校の学校行事に関して、概ね満足して頂いていると考えられます。今年度は、運動会を秋に実施致しました。展覧会は作品展示数を増やし、楽しむ趣向を取り入れる工夫を致しました。どちらも、肯定的な感想を多数頂きました。しかし、本校では音楽関係の行事が課題と考えております。今年度は合唱発表集会として実施致しましたが、合奏の発表も望む声が保護者から毎年寄せられております。

そこで、秋の文化的行事の変更を考えております。来年度は学芸会、再来年度は音楽会とし、合唱と合奏の両方を発表致します。その次の年は展覧会とする予定です。

<児童の様子>

[2]

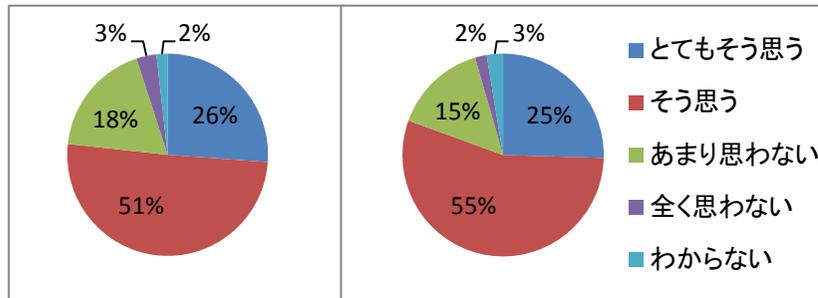
【質問4】 お子さんは楽しく学校に通っている。



昨年度と比べて、「とてもそう思う」が8%増えて、過半数を超えました。これは、今年度、1学期の学級づくりに全校で力を注いだ成果だと考えます。休み時間は担任も専科教員も外に出て子供と一緒に遊び、給食は子供の班に入って会話をしながら一緒に食べるという取組を全学級共通で行って来ました。これらの取組を通して、一人一人の児童理解に努めるとともに、担任と児童の信頼関係を築くようにして参りました。

来年度も、一人一人が笑顔で楽しく学校に通うことができるようにするために、1学期の学級づくりに向けた取組を継続して参ります。

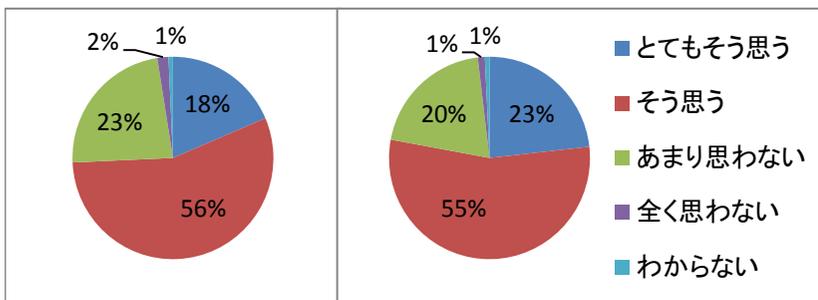
【質問5】 お子さんは授業中落ち着いた態度で学習に取り組んでいる。



全校規模で見ると、80%の皆様から「落ち着いて学習に取り組んでいる」という回答をいただき、昨年度よりも少し増えました。今年度はどの学級も大きな乱れはなく、落ち着いて学習している様子が見られます。これも、担任との信頼関係を築くことを重視した成果だと思われれます。さらに、『本町小の学習スタンダード』を基に授業規律の徹底を図った成果とも考えられます。

しかし、「落ち着いて取り組めていない」が約20%もいるという現状も受け止め、一人一人の児童理解と支援に努めて参ります。

【質問6】 お子さんは基本的な生活習慣や学習習慣が身についている。



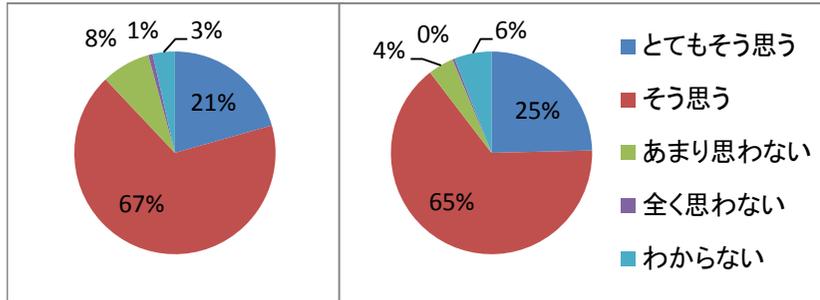
基本的な生活習慣や学習習慣が「身に付いている」という回答は、78%まで伸びました。本校では、学期に1回の『元気いっぱい週間』での啓発の取組を継続しております。担任による毎日の点検と全員提出の声かけに加え、今年度から、親子での取組の呼びかけ、パーフェクトだった児童の表彰も行っております。これらが、各御家庭や児童の意識を高めることにつながってきたと考えております。

今後は、3つの『あ』（あいさつ・あんぜん・あとかたづけ）の実践、授業中の話の聴き方（めだか）や話し方（かつお）の全校共通の合い言葉等を基に、学校生活の中での生活習慣と学習習慣の向上を目指して指導をして参ります。

<学習>

[3]

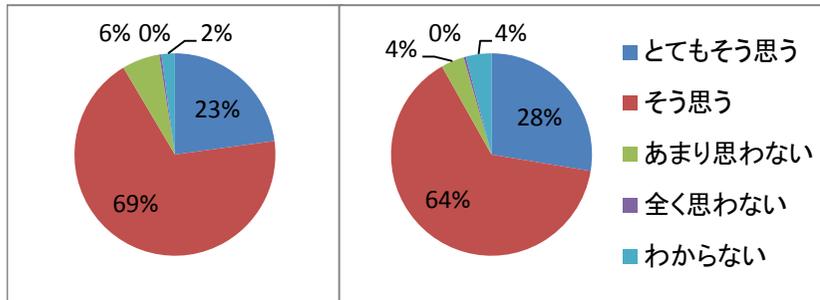
【質問7】 学習内容が身につく授業が行われている。



昨年度より「とてもそう思う」との回答が4%増加し、学校全体の90%の保護者より肯定的な回答を頂いております。本校は、平成29・30年度の2年間、東京都教育委員会の研究推進校として、『思考力・判断力・表現力を身に付けさせる学習の創造』という研究主題を掲げ、授業改善に取り組んでおります。これは、多様に変化する社会を生き抜く資質・能力を育むことを目指しております。

次年度は、研究をさらに深めながら、「一人一人が分かる授業、考え深める授業」を提供することで学力向上につながるよう努めて参ります。

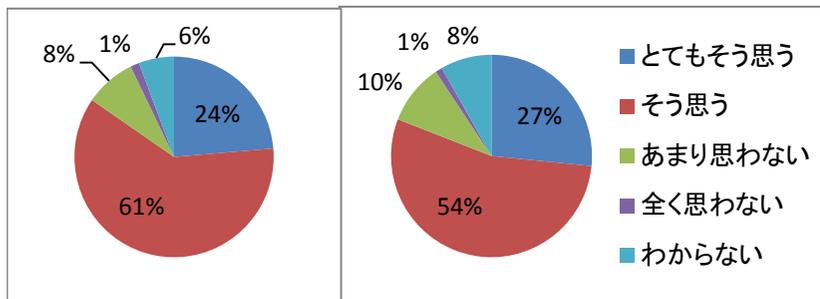
【質問8】 授業の工夫や補習など、学力向上に努めている。



「とてもそう思う」との回答も昨年度より5%増加し、学校全体の92%の保護者より肯定的な回答を頂きました。授業では、書画カメラの活用、ホワイトボードや円卓ボード、付箋などの思考ツールを活用して話し合いを深める工夫や、ゲストティーチャーによる専門性の高い授業を推進するなどしながら、体験的で主体的・対話的な学習を多く取り入れるようにしてきました。ステップアップタイムには、前学年・現学年の学習の習得が十分でない児童に基礎・基本の定着を図るように、専科教員も加わって補習を進めて参りました。

次年度は、補習方法をさらに改善し、学力向上を図ることを考えています。

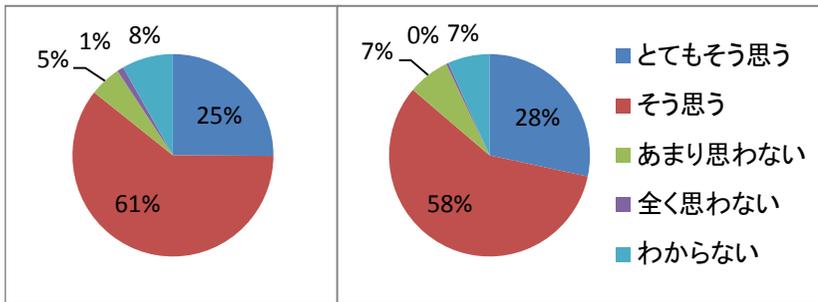
【質問9】 子供の良さを認め、より力を伸ばす指導が行われている。



この項目では、「とてもそう思う」との回答が3%増えた一方で、「全く思わない」と回答した方が昨年と同様に1%おりました。これは、学校を信頼して頂けていない御家庭であり、この1%にも目を向けていく必要があると考えます。また、「あまり思わない、分からない」との回答も少し増えました。

この結果を受けて、学校全体として、改めて「子供の良さを認め、伸ばす指導」を教員一人一人が心がけることを共通理解致しました。「全く思わない」という御家庭に対して、お子さんの良さを更に細かく伝えていくことに努めて参ります。

【質問10】礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。

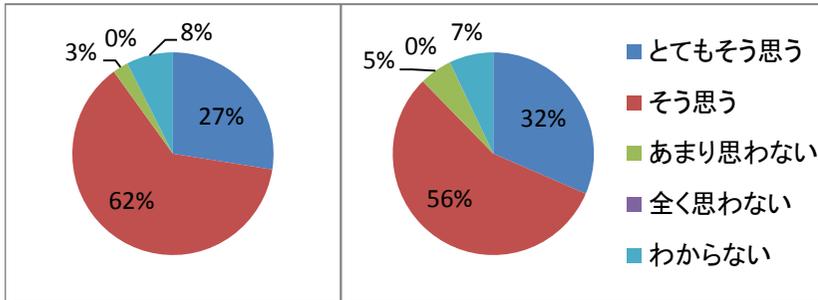


学校全体の86%の保護者の皆様より肯定的な評価を頂きました。本校では、3つの「あ」の1つ目に「あいさつ」を掲げて指導をしておりますが、地域の見守りボランティアの方々からも御指摘を頂いていますように、まだまだ「自分から進んで」「伝わる声で」等に課題があります。授業中の正しい言葉遣いの指導にも取り組んで参りましたが、日常の大人や友達に対する言葉遣いには課題が見られます。心の教育への取組は、まだまだ十分ではないと考えています。

今後も、教員が手本を示しながら適宜あいさつ・礼儀の指導を繰り返すとともに、次年度から始まる「特別の教科 道徳」でも心の教育に取り組んで参ります。

<生活>

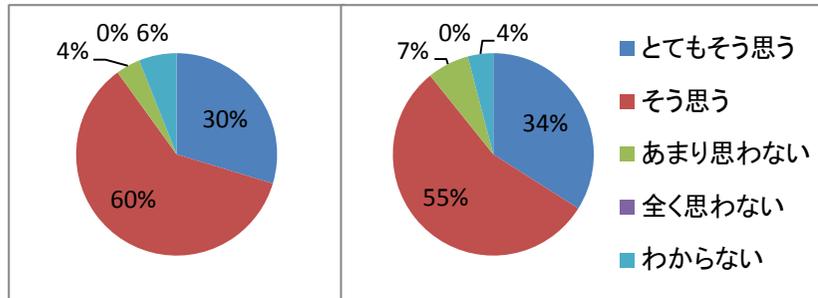
【質問11】健康・安全に対する生活指導が適切に行われている。



学校全体の88%の保護者の皆様より肯定的な評価を頂き、「全く思わない」と回答した方はおりませんでした。本校では、3つの「あ」の2つ目に「安全」を掲げ、毎月1回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意・喚起を促す指導をしております。今年度、校内での大きな怪我はなく学校生活を過ごすことができている。しかし、下校時や放課後に、比較的大きな交通事故が3件ありました。

これを受けて、全校児童への交通事故防止指導に加え、道路の飛び出し防止への注意を促すための道路標示を市役所に申請し、対応して頂きました。

【質問12】震災や火災に備えての訓練を実践的に行っている。

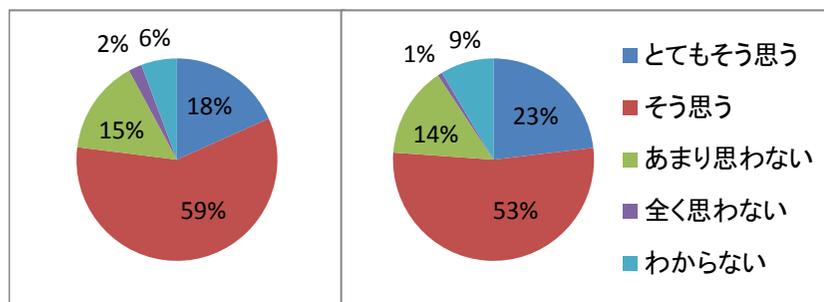


この項目は89%の肯定的な評価で、「全く思わない」と回答した方はおりませんでした。本校では、毎月計画的に行っている避難訓練の他に、地域の育成会行事「わんぱくまつり」において、消防署の協力を得ながら、起震車や消火器体験など多種にわたる防災訓練を毎年実施しております。さらに、5年生は、心肺蘇生法、AEDの使い方を全員が体験しながら学ぶ授業を行いました。10月には、地域総合防災訓練を行い、大人の方々もAEDの使い方を学ぶ機会を設けました。

次年度は、わんぱくまつりと地域総合防災訓練を同時開催とし、全教員と地域・保護者の方々との連携の下で、防災訓練を実施していく予定です。

【質問13】校舎内外の清掃や施設整理などが適切に行われ、学習環境の整備に取り組んでいる。

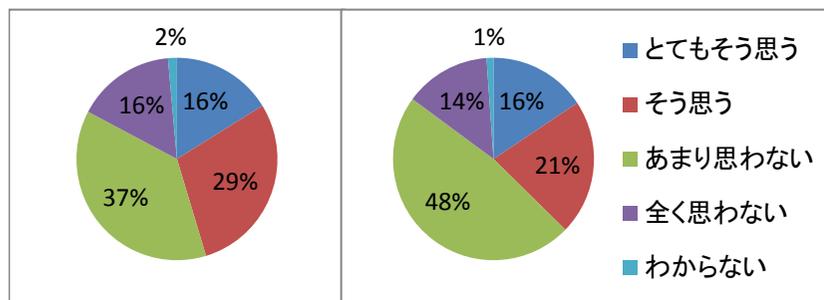
[5]



本町小は、創立39年ということもあり、校舎、教室の至る所の老朽化が進んでいる状況です。昨年度は、劣化が特にひどかった2階教室の壁のペイントを、用務主事と協力して行いました。今年度は、夏休みに3階教室の壁のペイントを教員が行い、1階廊下の壁をおやじの会の方々にきれいに塗って頂きました。これらは応急処置ではありますが、ペイントされた壁は、児童の心の落ち着きにつながっていると感じています。しかし、整理整頓や細部の清掃など課題が見られます。市による抜本的な内外改装は、平成31年度に実施される予定です。

<ご家庭へのアンケート>

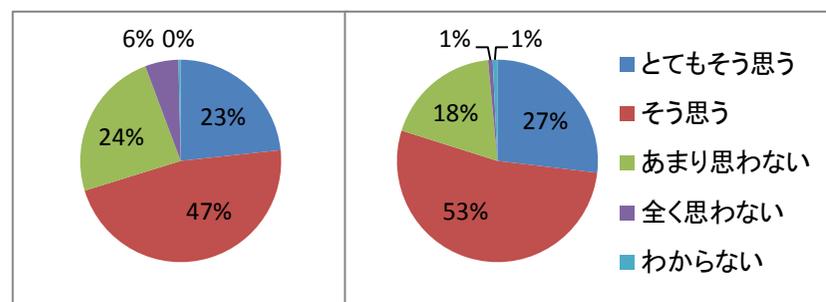
【質問14】お子さんは、年間を通してたくさんの本を読んでいる。



読書に関しては、「とてもそう思う」は昨年度と変わりませんでした。 「そう思う」が8%も減り、肯定的評価が37%でした。子供たちの読書量が少ないことは、本校の課題です。その理由の一つとして、子供たちは家で本を読まずに、テレビやゲームに時間を費やしていることが【質問16】の結果から伺えます。元氣いっぱい週間の結果からも同様でした。

これを受けて、学校では、来年度の読書の取組を検討して改善を図ります。御家庭でも、家での時間の使い方について、テレビやゲームの時間を決める、本を読む時間を作る等、御協力お願い致します。

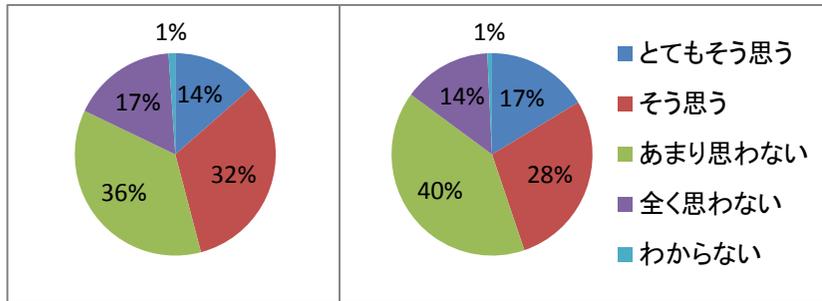
【質問15】お子さんは、宿題や自主学習に毎日取り組む習慣ができている。



家庭学習（宿題・自主学習）に毎日取り組む習慣は、肯定的評価が昨年度よりも10%向上して、80%となりました。「全く思わない」という回答も1%まで減らすことができました。これは、教員の根気強い声かけとともに、保護者の方々の御協力によるものと感謝しております。

学力向上には学校での授業に加えて家庭学習で定着を図ったり発展させたりすることが欠かせません。本校では、全学級で宿題を必ず毎日出すこと（10分×学年以上に見合う量）と、朝必ず提出する習慣を6年間共通して指導することを、改めて確認致しました。保護者の方が、少しの時間でもお子さんの家庭学習を見て下さることが、励みになります。今後も引き続き御家庭での御協力をお願い致します。

【質問16】お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できている。

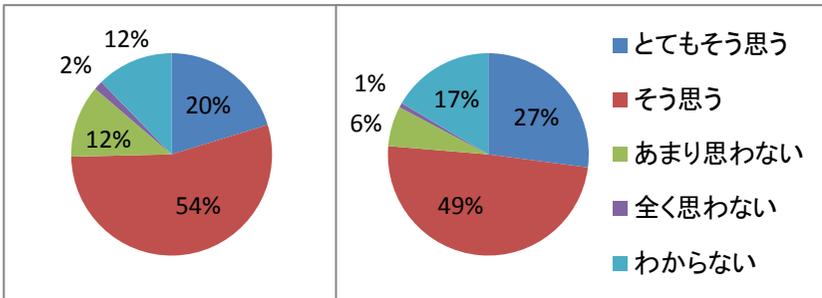


2つの円グラフから分かるように、昨年が続いて、本町小学校の子供たちはテレビやゲーム、ネット等への依存傾向があり、本校の課題の一つとなっています。高学年では、スマートフォン（ライン）での人間関係のトラブルもあったため、4月のセーフティ教室では、SNSについて専門家に出前授業をして頂き、全校で学ぶ場を設けました。さらに、SNS本町ルールに基づいてSNS被害防止の授業も実施しております。

テレビやゲーム、ネット等への依存回避について、学校でも引き続き「元気いっぱい週間」等も活用しながら指導を継続して参ります。お子さんの健やかな成長のために、御家庭での過ごし方の見直しをお願い致します。

<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

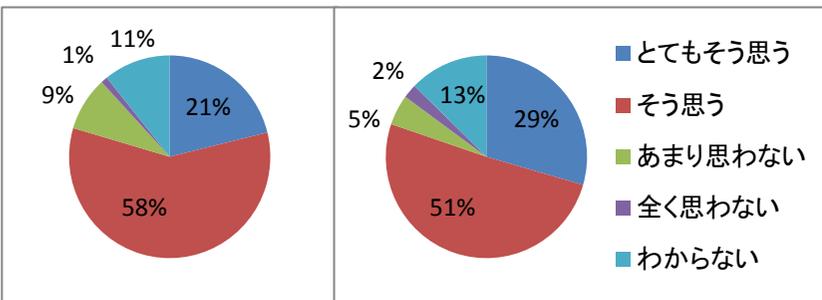
【質問17】学校は児童について、保護者の悩みや相談に積極的に応じている。



本校では、月に1回以上保護者の方々に学校へ来ていただく機会を意図的に設けております。また、学校公開日を設定しておりますが、登校日にいつ参観して頂いても構いません。今年度は、昨年度に比べて、「とてもそう思う」の割合が7%増えました。しかし、「わからない」との回答は17%に増えました。

子供については、学校と保護者の両者が協力し合うことで、大きな教育効果が得られると考えます。今後も悩みや相談に積極的に応じる学校を目指しているということを、保護者会や学校便り等を通じて、広報して参ります。

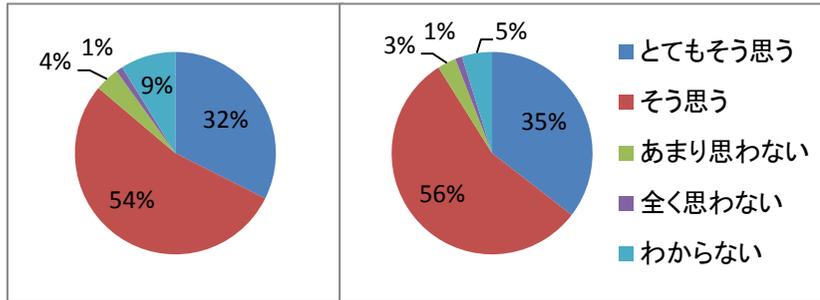
【質問18】学校は保護者や地域の皆様の声を聞こうとしている。



昨年に比べて、「とてもそう思う」との回答は、8%増えて、肯定的評価は80%でした。その反面、「全く思わない」「わからない」が少し増えてしまったのは、校帽など保護者の方々への説明が不十分な状態で情報を伝えたことがあるためと考えられ、反省するのを感じました。

今後は、学校の考えを伝えた上で保護者や地域の皆様の御意向もお聞きしながら、新しい取組を進めるように努めて参ります。

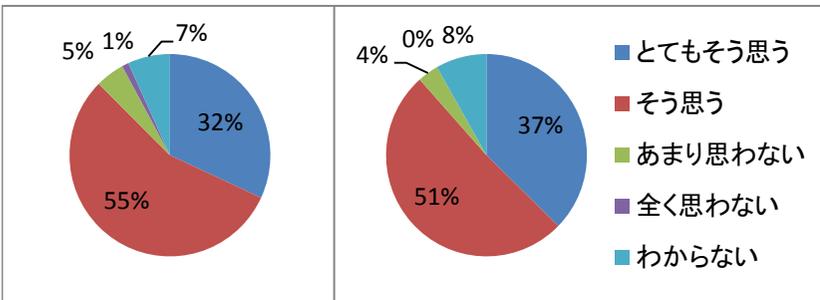
【質問19】学校は世話人会や育成会等地域行事に積極的に関わっている。



今年度は、90%を越える肯定的評価を頂きました。学校が世話人会の改革に携わっていること、育成会の行事（わんぱくまつり、ハロウィン等）やオアシス運動、夏休みのラジオ体操などに参加する教員が増えたことによる結果だと思えます。

『学校づくりは町づくり いい町はいい学校をつくる』という経営姿勢の下、保護者・地域・学校が連携しながら学校を創っていくことを大事にしたいと考えております。その理念を御理解頂き、学校も協力できるように推進して参ります。

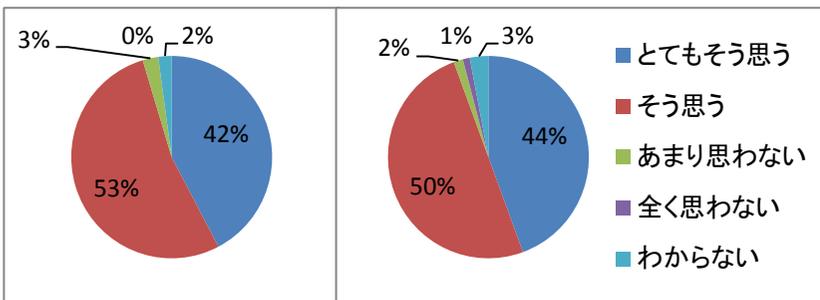
【質問20】学校の電話や訪問時における対応は適切である。



電話や訪問時における対応は、昨年度同様、90%に近い保護者の皆様より、適切に対応できているとの評価を頂きました。「全く思わない」との回答はありませんでした。

今後も引き続き、教職員一同、適切な対応を心がけて参ります。

【質問21】学校は学校公開や保護者会など、開かれた学校づくりに取り組んでいる。



学校公開や保護者会など、開かれた学校づくりは、多くの保護者の皆様より、御理解を頂くことができました。特に、今年度からは、土曜日の授業公開を増やし、保護者・地域の皆様に開かれた学校となるように努めております。また、多摩六都科学館や東京農工大学、武蔵野大学、横河武蔵野アトラスターズ等との連携にも積極的に取り組んでおります。

次年度も、開かれた学校の理念をもちながら学校を公開していくとともに、地域の外部機関との連携もいっそう強化し、厚みのある教育活動を展開して参ります。